

美里町建設工事総合評価落札方式（特別簡易型）

落札者決定基準

【工事名：令和7年度公共下水道補第1（北浦地区）污水管築造工事】

宮 城 県 美 里 町

令和7年6月

1 総則

本基準は、美里町が発注する『令和7年度公共下水道補第1（北浦地区）污水管築造工事』において、請負者の選定を総合評価落札方式（特別簡易型）で実施するに当たり、基準を示すものである。

2 総合評価点の算定方法

（1）総合評価は、入札参加者のうち、次のいずれの要件も満たす者を対象に行う。

- ア 入札参加者が公告に定めた必要な要件を満たし、無効でない者
- イ 価格以外の評価を行うため、入札公告で定めた技術等の資料（以下「総合評価技術資料」という。）を提出した者
- ウ 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- エ 失格基準価格を設定した場合は、失格基準価格を下回らない者

（2）総合評価点は、次の算式により算定する。

総合評価点＝価格評価点＋価格以外の評価点

（3）価格評価点と価格以外の評価点の配点は、次のとおりとする。

- ア 価格評価点 80点
- イ 価格以外の評価点 20点

3 価格評価点の算定方法

（1）価格評価点は、次の算式により算定する。

価格評価点＝配点（80点）×（最低入札価格／入札価格）
[小数点以下第3位四捨五入]

（2）最低入札価格は、各入札者（失格となった者を除く。）の入札金額のうち、最低の価格とし、入札価格は、各入札者の入札金額とする。

4 価格以外の評価点の算定方法

（1）価格以外の評価点は、入札参加者が提出した総合評価技術資料により、価格以外の評価項目及び評価基準に基づいて算出した評価点の合計とする。

（2）総合評価技術資料の提出が無い者は、失格とする。

（3）価格以外の評価点は、入札参加者の申告を最大点とし、錯誤の取扱いにより発注者が行う修正評価は、減点措置のみとする。

（4）虚偽の申告による応札は、失格とする。

なお、虚偽の申告とは、入札参加者が有している実績以上の内容で申告をした場合で入札参加者が申告内容を証明できない場合とする。

（5）錯誤の申告による応札

ア 入札参加者が有している実績以上の内容で申告をした場合で、入札参加者が申告内容に虚偽がないことを明確に証明できたときは、錯誤による応札とし、最低評価点に修正する。

イ 入札参加者が有している実績以下の内容で申告をした場合は、錯誤による応札とし、申告内容のとおり、評価する。

- (6) 総合評価技術資料で提出された内容は、その履行が確保できなかった場合、美里町建設工事等入札参加業者等指名停止要領（平成 18 年訓令第 59 号）の規定による措置の対象とする場合がある。

5 落札者の決定方法

- (1) 落札者の決定は、入札価格が予定価格の範囲内の価格をもって入札した者のうち、総合評価点の最も高い者を落札候補者とする。
- (2) 総合評価点が同点の場合の取扱い、総合評価点が高い者が 2 人以上あるときは、入札価格が低い者を落札候補者とし、入札価格が同じときは、くじ引きにより落札候補者を決定する。
- (3) 配置する技術者に対するヒアリングは、落札候補者から提出された資料等の適否を判断するため、必要に応じて配置する技術者に対してヒアリングが出来るものとし、確認する項目の例は、次に示すとおりとする。
- ・ 配置する技術者の経歴、資格
 - ・ 同種工事の経験の有無
 - ・ 同種工事の施工実績として挙げた工事の概要 等
- (4) 配置する技術者の取扱い
- ア 配置する技術者の変更は、原則、認めない。ただし、工場製作等を含む工事又は技術者のやむを得ない事情等により、変更が必要と監督職員が認めた場合は、認めるものとする。
- イ 本工事が完了するまでの間に配置する技術者の変更は、原則、認めない。

6 価格以外の評価項目及び評価点

下記における評価項目についてそれぞれ評価を行い、各々評価点を算出する。

■美里町総合評価落札方式・価格以外の評価項目及び評価基準

評価項目		評価内容	評価基準	配点
施 工 能 力	同種工事の 施工実績	①過去 10 年間の宮城県 内における同種工事实績 の有無	a .同種施工実績有り	5
			b .施工実績無し	0
	工事成績	②宮城県工事成績点数 【過去 5 年間平均値】	a .8 0 点以上	4
			b .6 5 点以上 8 0 点未満	2
			c .6 5 点未満又は実績無し	0
	I S O 認証 取得	③ ISO9001 あるいは ISO14001 の認証取得の 有無(建設業に関するも のに限る。)	a . ISO9001 及び ISO14001 を取得している。	2
			b . ISO9001 又は ISO14001 を取得している。	1
			c .どちらも取得していない。	0
	配置技術者 の能力	④過去 10 年間における 同種工事の施工実績の有 無	a .同種工事实績有り	4
			b .実績無し	0
	指名停止等 処分	⑤過去 2 年間における指 名停止処分の有無（美里 町からの指名停止に限 る。）	a .無し	0
b .指名停止を受けたことがあ る（1 回につき）。			△ 2	
地 域 貢 献	営業拠点の 所在地	⑥本支社の所在地により 評価	a .美里町内に本社があるもの	2
			b .美里町内に支店、営業所が あるもの	1
			c .美里町内に無いもの	0
	災害協定又 は除融雪業 務	⑦美里町との災害協定締 結又は除融雪業務契約の 有無	a .災害協定締結又は除融雪業 務契約有り	2
			b .無し	0
そ の 他	事業所の労 働安全衛生	⑧建設業労働災害防止協 会加入の有無	a.協会への加入有り	1
			b.協会への加入なし	0
合 計				2 0

同種工事の要件

国（独立行政法人を含む）、又は地方公共団体が発注した開削工法による 300m 以上の下水管布設工事を元請として受注した工事とする。

7 提出資料並びに資料作成方法

- (1) 別紙様式1については、入札書等と同封して郵送で提出し、それ以外の総合評価技術資料は、落札候補者が決定した段階で落札候補者から提出を求める。
- (2) 別記様式1には、応札者記入欄に応札者自らが該当点数を記入し提出すること。
- (3) 資料は、次に従い作成すること。

ア 同種工事の施工実績

- ・別記様式2に記載することとし、記載する同種工事の施工実績は、1件で良い。
- ・同種工事とは、発注者が指示する工種を含む工事とする。
- ・国、県又は市町村の発注した工事を対象とする。(宮城県内で施工した工事)
- ・当該工事の開札日の属する年度の直前10ヵ年度及び当該工事入札公告日までに完成し、引渡しが完了した工事を対象とする。
- ・同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS登録されていない場合は、契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分）の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

イ 工事成績

- ・美里町工事成績評点の実績がないため、宮城県工事成績点数を評価基準とする。

ウ ISO認証取得

- ・美里町に入札参加資格登録をしている事業所（受任機関を置いている場合はその受任機関）が取得している認証取得状況の評価する。また、認証取得証明書類等の写しを提出すること。

エ 配置技術者の同種工事の施工実績

- ・別記様式3に記載すること。記載する同種工事の施工実績は、1件でよい。
- ・実績として記載する配置技術者は、主任又は監理技術者として従事した工事とする。
- ・同種工事とは、発注者が指示する工種を含む工事とする。
- ・国、県又は市町村の発注した工事を対象とする。(宮城県内に限らない)
- ・当該工事の開札日の属する年度の直前10ヵ年度及び当該工事入札公告日までに完成し、引き渡しが完了した工事を対象とする。
- ・同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS登録されていない場合は、契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分）の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。アの施工実績と重複し、配置技術者の従事が確認できれば提出を省略できる。

オ 指名停止処分

- ・当該工事の開札日の属する年度の直前2ヵ年度及び当該工事入札公告日までに美里町から指名停止を受けた回数を基準とし、1回につき2点減点とする。

カ 営業拠点の所在地

- ・入札参加資格承認を受けている事業所の所在地とする。また、美里町内に支店及び営業所がある場合は、前年度の法人町民税納税証明書等（写し）を提出すること。

キ 災害協定締結又は除融雪業務

- ・美里町との災害協定の有無により評価する。また、協定書写しを提出すること。
- ・当該工事の開札日の属する年度の直前2ヵ年度及び当該工事入札公告日までに受注した美里町との除融雪業務契約書等の写しを提出すること。
- ・応札者が加入する団体が協定又は契約している場合、そのことが証明できるものを提出すること。

ク 労働安全衛生

- ・建設業労働安全災害防止協会への加入実績がある場合は、証明する書類の写しを提出すること。

美里町総合評価方式・価格以外の総合評価技術資料

工事名：

住所又は所在地

会社名

代表者名

印

評価項目		評価内容	評価基準	配点	応札者 記入欄	発注者 採点欄
施 工 能 力	同 種 工 事 の 施 工 実 績	①過去 10 年間の宮城県 内における同種工事实 績の有無	a .同種施工実績有り	5		
			b .施工実績無し	0		
	工事成績	②宮城県工事成績点数 【過去 5 年間平均値】	a .8 0 点以上	4		
			b .6 5 点以上 8 0 点未満	2		
			c .6 5 点未満又は実績無し	0		
	I S O 認 証取得	③ ISO9001 或いは ISO14001 の認証取得 の有無(建設業に関する ものに限る。)	a. ISO9001 及び 14001 のいずれも取得	2		
			b. ISO9001 又は 14001 のいずれか取得	1		
			c .どちらも取得してい ない	0		
	配 置 技 術 者の能力	④過去 10 年間における 同種工事の施工実績の 有無	a .同種工事实績有り	4		
			b .実績無し	0		
地 域 貢 献	指 名 停 止 等処分	⑤過去 2 年間における 指名停止処分の有無(美 里町からの指名停止に 限る。)	a .無し	0		
			b .指名停止を受けたこ とがある (1 回につき)	△ 2		
	営 業 拠 点 の所在地	⑥本支社の所在地によ り評価	a .美里町内に本社が在 るもの	2		
			b .美里町内に支店、営業 所が在るもの	1		
			c .美里町内に無いもの	0		

	災 害 協 定 又 は 除 融 雪 業 務	⑦美里町との災害協定 締結又は除融雪業務契 約の有無	a .災害協定締結又は除 融雪業務契約有り	2		
			b .無し	0		
そ の 他	事 業 所 の 労 働 安 全 衛 生	⑧建設業労働災害防止 協会加入の有無	a.協会への加入有り	1		
			b.協会への加入無し	0		
合 計				2 0		

同種工事の要件

国（独立行政法人を含む）、又は地方公共団体が発注した開削工法による３００m以上の
の下水管布設工事を元請として受注した工事とする。

※応札者は、応札者記入欄に応札者自ら点数を記入し提出すること。

会社名_____

同種工事の施工実績

工事名： _____
 住所又は所在地 _____
 会社名 _____
 代表者名 _____ 印

同種工事の条件		総合評価技術資料の下欄に示す要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)
工事名称等	工事名称	〇〇工事
	発注機関名	〇〇市
	施工場所	〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇、〇〇〇、〇〇〇円
	工 期	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
	受注形態等	単体／〇〇・〇〇JV(出資比率〇〇%)
工事概要	同種の工事の条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること。	・ 〇〇建設工事 構造 〇〇建 延床面積 〇〇㎡ 建築面積 〇〇㎡ 建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事 外構工事等

※同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は、契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分））の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

※記入欄の明示は、記入例である。

別記様式 2

同種工事の施工実績

工事名： _____
 住所又は所在地 _____
 会社名 _____
 代表者名 _____ 印

同種工事の条件		総合評価技術資料の下欄に示す要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率 20 % 以上の場合のものに限る。)
工事名称等	工事名称	
	発注機関名	
	施工場所	
	契約金額	
	工 期	
	受注形態等	
工事概要	同種の工事の条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること。	

※同種工事の施工実績については、記載する工事の CORINS（登録されていない場合は、契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分））の写しを提出すること。ただし、CORINS 等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

主任（監理）技術者の資格・工事実績

工事名：_____

住所又は所在地_____

会社名_____

代表者名_____ 印

配置技術者の従事役職・氏名		〇〇技術者 〇〇 〇〇
最終学歴		〇〇大学 土木工学科 〇〇年卒業
法令による資格・免許		1級建築施工管理技士（取得年及び登録番号） 監理技術者資格 （取得年、有効期限、登録番号及び登録会社） 監理技術者講習（取得年、修了証番号）
工事 経験 の 概 要	工事名称	〇〇工事（CORINS登録番号）
	発注機関名	〇〇市
	施工場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	〇〇、〇〇〇、〇〇〇円
	工 期	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
	受注形態等	単体／〇〇・〇〇JV(出資比率〇〇%)
	従事役職	主任（監理）技術者
工 事 内 容	同種工事条件を満たす 工事であることが確認 できる内容を記述する こと	・ 〇〇建設工事 構造 〇〇建 延床面積 〇〇㎡ 建築面積 〇〇㎡ 建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事 外構工事等
申 請 時 に お け る 他 工 事 の 従 事 状 況	工事名称	△△△△△工事
	発注機関名	△△市
	工期	令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日
	従事役職	現場代理人・主任（監理）技術者・工事主任等
	本工事と重複する場合 の対応措置	
CORINS 登録の有無		有(CORINS 登録番号) ・ 無

※申請時における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。（従事している工事の従事役職はすべて記入すること。）

※主任（監理）技術者の経験等については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分）の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で配置予定技術者の経験等が不明な場合については平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

※記入欄の明示は、記入例である。

主任（監理）技術者の資格・工事実績

工事名：_____

住所又は所在地_____

会社名_____

代表者名_____ 印

配置技術者の従事役職・氏名		
最終学歴		
法令による資格・免許		
工事 経験 の 概 要	工事名称	
	発注機関名	
	施工場所	
	契約金額	
	工 期	年 月 日～ 年 月 日
	受注形態等	
	従事役職	
工 事 内 容	同種の工事条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること	
申 請 時 に お け る 他 工 事 の 従 事 状 況	工事名称	
	発注機関名	
	工期	
	従事役職	
	本工事と重複する場合の対応措置	
CORINS 登録の有無		

※申請時における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。（従事している工事の従事役職はすべて記入すること。）

※主任（監理）技術者の経験等については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分）の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で配置予定技術者の経験等が不明な場合については平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。